

各位



平成 27 年 12 月 11 日

会社名 株式会社テンポスバスターズ
代表者名 代表取締役社長 平野 忍
(コード番号：2751 JASDAQ)
問合せ先 広報 乙丸 千夏
TEL 03-3736-0319(代表)

連結子会社（キッチンテクノ株式会社）の業績に関するお知らせ

当社連結子会社のキッチンテクノ株式会社（代表取締役社長：村重英昭 本社：東京都新宿区）は、本日付けで平成 28 年 3 月期第 2 四半期の業績を下記の通りお知らせします。

平成 28 年 3 月期第 2 四半期の業績（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成 28 年 3 月期第 2 四半期	1,631	52	55	48
平成 27 年 3 月期第 2 四半期	2,032	△5	△2	△106
増減率	△19.7%	-	-	-

*平成 27 年 7 月より、当社の連結子会社となりました。

当第 2 四半期期間の外食業界におきましては、円高による原材料の高騰や、人材不足による採用コストの増加などの問題により業界全体の不振が続きました。

そのため、当社の主要顧客である外食チェーン店の多くは、上記の問題に対処すべく、新規出店を抑制し、既存店の強化に力を入れたことから、当社の厨房機器販売の受注件数も減少し、当第 2 四半期において大幅な減収となりました。そのため、外食チェーン店の出店状況に左右されない営業体制の構築が今後の課題となります。

一方で、スーパーマーケットへの販売が好調でした。大手スーパーチェーンが、総合スーパーから、専門の食品スーパーに業態転換したことや、中小企業の食品スーパーが新規出店を加速させたことで、当社の厨房機器販売の受注件数も増加しました。また、高齢者や単身世帯が増加したことで、スーパーマーケット内で食事をするニーズが高まり、店舗内にイートインスペースを設け、厨房器具などの設備投資に力を入れるスーパーマーケットが増えました。これにより、受注件数の増加とともに受注単価のアップにもつながりました。

なお、イートインスペースにおいては、テンポスグループとの連携を活かし、椅子やテーブル、食器調理道具を受注することによって、利益を出せる体制が確立し、赤字体質から黒字体質となることができました。

以上